

# Rohde & Schwarz Technology Symposium 2024

Transform Tomorrow. Today

開催日時：2024年5月16日 (木)

10:00 ~ 17:45 セミナー

18:00 ~ 21:00 懇親会

12:30 ~ 21:00 展示会を併設

会場：東京コンファレンスセンター・品川 5F  
JR品川駅港南口（東口）より徒歩2分



参加者全員プレゼント  
ローデ・シュワルツ  
90周年記念ボールペン

ローデ・シュワルツ・ジャパンは、この度創立90周年を記念する企画としてTechnology Symposium 2024を開催する運びとなりました。

本テクノロジーシンポジウムでは、各業界において深い知見をお持ちの皆様最先端技術が実現する未来の姿を示していただくことで、お客様の将来的な道標となるような情報や、具体的な評価手法等に関する情報をご提供したいと考えております。

また、技術情報だけでなく本イベントの主旨に協賛いただいたパートナー会社様による新製品やソリューション展示も予定しております。この機会に、業界の枠組みを超えた様々な最先端テクノロジーに触れてみませんか。

参加費無料  
事前登録制

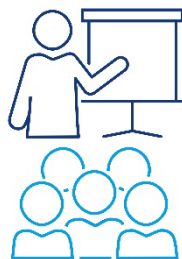
お申込みは  
こちらから

<https://www.rohde-schwarz.com/jp/technology-symposium-2024>

## 技術セッション (事前登録制)

自動車および無線技術の最新動向や規格策定の状況、あるいは各種アプリケーションに対応したソリューションの紹介と合わせて、エンジニアが日々の業務で直面する無線機器やデバイス、あるいはEMC評価手法などに関するセッションをご用意しました。

詳細なタイムスケジュールは裏面をご覧ください。

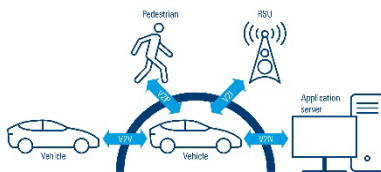


## 展示会

協賛企業様により、新製品や各種計測ソリューションを取り揃えて展示致しますので、この機会に最新のソリューションをご覧ください。

展示協賛企業 (50音順・敬称略)

- SMFLレンタル株式会社
- グラナイトリバーラボ株式会社
- 株式会社テクノサイエンスジャパン
- TDK株式会社
- 日本電計株式会社
- フジクラ株式会社
- 株式会社ペリテック
- 株式会社マックスシステムズ



## ご来場特典

ご来場頂いたお客様には、以下の特典をご用意しております。

- ローデ・シュワルツ90周年記念ボールペンを参加者全員にプレゼント
- 技術相談窓口を開設：計測器に関するお困りごとを弊社エンジニアがその場でご相談します。
- セミナー終了後に大抽選会を予定しており、豪華賞品をご用意しております。
- 懇親会ではお飲み物や軽食をご用意しておりますので、是非ご参加ください。



## タイムスケジュール

時間			
10:00 - 10:15	オープニングスピーチ：齋藤 直士 ローデ・シュワルツ・ジャパン		
10:15 - 11:00 基調講演 1	The key pillar of T&M innovation Mr. Christian Leicher President & CEO, ローデ・シュワルツ		
11:00 - 11:45 基調講演 2	タイトル調整中 原田 博司 氏 京都大学 情報学研究科 情報学専攻通信システム工学講座 教授		
11:45 - 12:30 基調講演 3	タイトル調整中 Mr. Jürgen Meyer Vice President Market Segment Automotive, ローデ・シュワルツ		
12:30 - 13:45	昼 食、製品展示会		
	EMC関連技術	自動車・無線関連技術	最新テクノロジー評価手法
13:45 - 14:25 セッション 1	干渉な適切に重み付けによる、適切な無線受信保護のポイント Mr. Jens Medler ローデ・シュワルツ	タイトル調整中 Mr. Holger Gryska ローデ・シュワルツ	車載レーダーの評価手法 ローデ・シュワルツ・ジャパン
14:35 - 15:15 セッション 2	省エネ・脱炭素社会の実現に向けたパワーエレクトロニクスへの期待とEMC課題 井瀨 貴章 氏 大阪大学	GRLの車載向けテストサービスの動向 浦邊 康雄 氏 グラナイトリバーラボ株式会社	5G NTNの評価手法 ローデ・シュワルツ・ジャパン
15:15 - 15:35	休 憩、製品展示会		
15:35 - 16:15 セッション 3	タイトル調整中 塚原 仁 氏 一般財団法人 日本品質機構	6Gに向けたミリ波帯・テラヘルツ帯フェーズドアレイ無線技術 岡田 健一 氏 東京工業大学	Wi-Fi7/Bluetoothの評価手法 ローデ・シュワルツ・ジャパン
16:25 - 17:05 セッション 4	非常に厳しい！？ 車載機器のEMC対策事例 菊池 浩一 氏 TDK株式会社	28 GHz帯フェーズドアレイアンテナモジュール (PAAM) のOTA測定 藤乗 優治郎 氏 株式会社フジクラ	オシロスコープによるノイズ評価手法 ローデ・シュワルツ・ジャパン
17:05 - 17:45 セッション 5	調整中	調整中	調整中
18:00 - 20:00	懇親会、製品展示会		

## 技術セッション概要：基調講演

タイトル	講師名	セッション概要
The key pillar of T&M innovation	Mr. Christian Leicher ローデ・シュワルツ	調整中
調整中	原田 博司 氏 京都大学	調整中
調整中	Mr. Jürgen Meyer ローデ・シュワルツ	調整中

## 技術セッション概要：EMC関連技術

タイトル	講師名	セッション概要
Appropriate weighting of interference is the key for adequate radio protection 邦題： 干渉な適切に重み付けによる、適切な無線受信保護のポイント	Jens Medler 氏 ローデ・シュワルツ	無線受信への影響は干渉の種類(広帯域または狭帯域)と関連する無線サービスに依存することが認識されている。特に、パルス繰り返し周波数への依存性が、今ではよく知られている準尖頭値検出器の定義と導入につながっている。さらに、デジタル放送および通信システムの出現も、妨害の重み付け方法に影響を与えている。CISPRでは、多数のデジタル無線通信サービスに対するインパルス性妨害の影響を調査し、その結果、RMS平均検出器と振幅確率分布(APD)測定関数という新しい重み付け関数が採用されている。本講演では、その具体的な内容について解説する予定である。
省エネ・脱炭素社会の実現に向けたパワーエレクトロニクスへの期待とEMC課題	井瀨 貴章 氏 大阪大学	カーボンニュートラルに向けたモビリティの電動化や電力・エネルギーの高効率利用のためには、パワーエレクトロニクス(パワエレ)技術のさらなる発展・適用拡大が必要不可欠である。SiCやGaNに代表されるワイドバンドギャップパワーデバイスの高速スイッチング動作は、電力変換機器の小型・低損失化に対する期待が高い反面、発生するノイズの高レベル・広帯域化が新たな課題となっている。本講演では、パワエレ回路のEMC設計を考えるうえで最も基礎となるパワーデバイスのスイッチング特性に着目したノイズ発生メカニズム解明に関する取り組み事例について紹介するとともに、パワエレ特有のEMC課題について概説する。
調整中	塚原 仁 氏 一般財団法人 日本品質機構	調整中
非常に厳しい！？ 車載機器のEMC対策事例	菊池 浩一 氏 TDK株式会社	本セミナーでは、現在車載搭載機器に求められるEMC要求について触れ、民生規格より厳しいと言われている車載システムにおけるEMCレベルについて対策の勘所を解説する。極小さなノイズに対して対策事例として説明し、一般的なルールはもとより、状況に応じて効果が異なる対策の勘所に関して紹介する。事例は車載機器を用いているが、車載機器設計でない方でも参考となる内容となっている。
調整中		

## 技術セッション概要：自動車・無線関連技術

タイトル	講師名	セッション概要
GRLの車載向けテストサービスの動向	浦邊 康雄 氏 グラナイトリバーラボ株式会社	高速化の波が家電から車載にシフトし、SDVによる新しい車の定義が始まっている。Open AllianceやASAに積極的に関わり、車載EthernetやMIPI、PCIExpressをはじめ、USB PDおよびワイヤレス充電規格Qiなど、家電で採用された技術の採用が加速している。GRLでは、これまで培った計測技術が、これからの車載ビジネスをドライブする大きな足がかりになると考えている。本セッションでは、GRLの車載テストサービスの最新情報をお届けする。
6Gに向けたミリ波帯・テラヘルツ帯フェーズドアレイ無線技術	岡田 健一 氏 東京工業大学	第5世代移動体通信システム(5G)に続く、Beyond 5Gや6Gに向けた研究開発が急激に活発化している。Beyond 5G/6Gでは、5Gで利用が開始されたミリ波無線通信技術の本格化が期待されている。6Gではさらなる高速化に向けて、テラヘルツ帯の利用も想定されている。本講演では、これらの技術動向を踏まえ、フェーズドアレイ無線機の基礎からBeyond 5Gや6G等の最新技術動向について解説する。
28 GHz帯フェーズドアレイアンテナモジュール(PAAM)のOver-The-Air(OTA)測定	藤乗 優治郎 氏 株式会社フジクラ	28 GHz帯フェーズドアレイアンテナモジュール(PAAM)におけるOver-The-Air(OTA)測定技術を紹介する。高速かつ正確なビームステアリング制御は、ミリ波基地局、屋内向けミリ波無線機において重要な技術である。OTAによる測定技術として、ビームパターンおよび2次元強度マップによりPAAMのビーム方向精度を解析する手法を説明する。この測定には、ネットワーク・アナライザ R&S ZNAを使用した。そして、一般的には困難な、周波数変換デバイスのOTAによる位相測定を、同じくPAAMとR&S ZNAの組み合わせで安定的に実現した。また、ベクトル信号発生器 R&S SMW200Aとスペクトラム・アナライザ R&S FSWを使用した、PAAMの変調信号解析結果についても概説する。
調整中		

## 技術セッション概要：最新テクノロジー評価手法

タイトル	講師名	セッション概要
車載レーダーの評価手法	ローデ・シュワルツ・ジャパン	調整中
5G NTNの評価手法	ローデ・シュワルツ・ジャパン	調整中
Wi-Fi7/Bluetoothの評価手法	ローデ・シュワルツ・ジャパン	調整中
オシロスコープによるノイズ評価手法	ローデ・シュワルツ・ジャパン	調整中
調整中	ローデ・シュワルツ・ジャパン	調整中

### 展示協賛企業（50音順・敬称略）

SMFLレンタル株式会社      グラナイトリバーラボ株式会社      株式会社テクノサイエンスジャパン      TDK株式会社

日本電計株式会社      フジクラ株式会社      株式会社ペリテック      株式会社マックスシステムズ

ローデ・シュワルツ・ジャパン株式会社  
[www.rohde-schwarz.com/jp](http://www.rohde-schwarz.com/jp)

お客様窓口：電話受付時間 9:00～18:00（土・日・祝・弊社休業日を除く）

- ▶ ご購入に関するお問い合わせ  
TEL: 0120-190-721 FAX: 03-5925-1285  
E-mail: [sales.japan@rohde-schwarz.com](mailto:sales.japan@rohde-schwarz.com)
- ▶ 技術ホットライン  
TEL: 0120-190-722  
E-mail: [TAC.rsjp@rohde-schwarz.com](mailto:TAC.rsjp@rohde-schwarz.com)
- ▶ 修理・校正・サービスに関するお問い合わせ  
TEL: 0120-138-065  
E-mail: [service.rsjp@rohde-schwarz.com](mailto:service.rsjp@rohde-schwarz.com)

お問い合わせ